

海のプラごみ汚染問題解決に向けた 連携ワークショップの開催と 普及啓発活動の拡大

ひろげる助成

2年目

知識の提供・普及啓発

資料セットの作成・配布 25組

普及啓発活動の開催 5回

今年度計画の達成度 100%

目標達成度 90%



海のプラごみ削減啓発資料活用研修会の様子

課 題

海洋ごみはプラスチック汚染であることや、陸域起因のごみが海に流出していることが知られていない。また、発生抑制対策推進のために、多様な団体等との連携が必要である。

目 標

ごみ回収活動、ごみ減量、自然環境保護など様々な視点でごみ問題に取り組むネットワークを持つ団体が連携して、プラスチックによる海洋汚染解決への普及啓発に取り組む。

活動内容と成果

JEANが蓄積してきた海洋ごみについての知見を、ネットワークを持つ他団体と共有し、各団体の活動の中にプラスチックによる海洋汚染問題を取り入れていける機会を提供した。座学や海岸でのごみ調査体験などのワークショップを通じて、プラスチックによる海洋汚染についての問題意識を共有できるようにした。改善のための意見交換を行い、普及啓発活動用の資料や教材についても話し合い、その結果を反映した25組の資料セットを作成して参加団体に配布した。その資料セットを用いた普及啓発活動を5回、参加団体の協力を得て展開した。



海のプラごみ普及啓発資料セット

苦労した点と工夫した点

■ 苦労した点

ワークショップや資料作成の意見交換に参加してもらった団体は、活動形態がそれぞれに異なるが、どの団体にも使いやすい資料セットを作る必要があった。

■ 工夫した点

これまでの活動経験をいかして、現場で採集したマイクロプラのサンプルを資料セットにのせた。生物の絡まりや誤飲の説明では疑似体験ができるプログラムを組み合わせた。



海のプラごみ普及啓発活動の様子

全助成期間の活動を振り返って

助成活動で他団体との意見交換などを何回も開催することができ、多彩な意見を活動に反映することができたのがとてもよかった。普及啓発用の資料セットは作成に時間を要したが、配布直後から各団体が頻繁に活用しており、継続的な利用が期待できる。これからも連携を続けられるつながりを作れたことは大きな成果だと感じている。海のプラ汚染問題の啓発活動の必要性はますます高まっているので、助成活動で得た知見をいかしたい。

活動地域 | 日本全域

〒185-0021 東京都国分寺市南町3-4-12-202

電話 : 042-322-0712

E-mail : cleanup@jean.jp

http://www.jean.jp/



今後の展望

資料セットは、購入希望などが多く寄せられているので、ワークショップと組み合わせて資料セットを広げていくプログラムを検討したい。また、講演とワークショップを組み合わせた啓発プログラムを企業向けなどに応用することも考えたい。